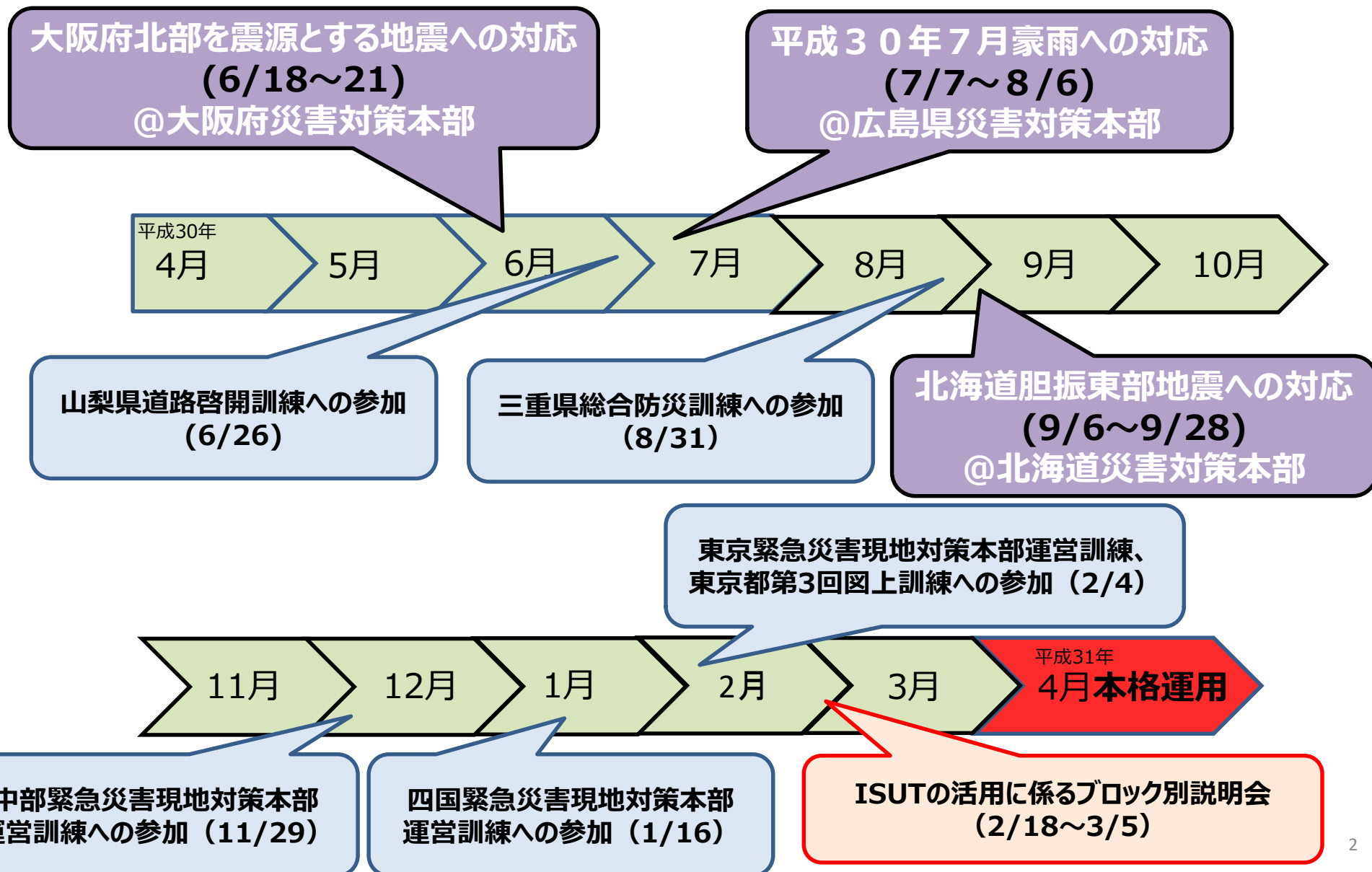


資料 1

アイサット
ISUT (*Information Support Team*) の本格運用について



「平成30年7月豪雨に係る初動対応検証レポート」(平成30年11月16日)

【評価しうる事項】

・広島県においては、内閣府の災害時情報集約支援チーム（ISUT）が作成した避難所の位置情報と避難人数を表した電子地図により、避難所の位置や避難所までの交通の状況等を把握、共有することができた。

【今後の方向性】

・内閣府防災担当は、現地において関係者の情報共有が進められるよう、災害時情報集約支援チーム（ISUT）の機能強化を進める。

「中央防災会議防災対策実行会議」(平成31年1月8日)

(菅官房長官（座長）からのご発言)

政府としては、内閣府を中心に関係省庁に取り組んでいただきたい3点について指示したいと思います。・・・（略）・・・

第3は、災害発生時における情報集約の充実強化であります。内閣府では災害時に情報を地図上に集約して、自治体等の迅速な災害対応を支援するチームの現地派遣を試行的に実施いたしております。早期の本格的な運用に向け、自治体との調整をぜひお願いしたいと思います。

課題

- 電子化されていないデータがある場合等、SIP 4 Dの入力に時間、人手を要する
- 市町村に十分活用されていない
- 民間の情報を含め、集約・共有できる災害情報の種類・範囲を拡大する必要がある

対応の方向

- 市町村への効果的な支援方策や防災情報システムとの接続を含めた地方公共団体との連携モデルの検討
- 民間事業者など関係機関との連携の強化

派遣基準

- 以下の場合で、内閣府情報先遣チームが派遣されるときに派遣
 - ①震度 6 弱以上又は東京都23区においては震度 5 強以上の地震が発生し、大きな被害が見込まれる場合
 - ②災害により大きな被害が発生し、又は発生する恐れがあると認める場合

活動場所

- 原則として、各関係機関のリエゾンが集結し、幅広い情報収集が可能な被災都道府県の災害対策本部で活動
- 市区町村にもISUTの連絡先等を通知し、市区町村からの直接の依頼にも対応

活動期間

- 原則として、先遣チーム又はその後継組織（現地対策本部等）が活動する期間と同様

構成員

- 内閣府防災担当及び国立研究開発法人防災科学技術研究所の職員で構成

現地対策本部への参画

- ISUTは、大規模災害時に現地で災害に対処するために設置される政府現地対策本部に参画
- このため、南海トラフ地震の際の現地対策本部の設置数（最大 4 箇所）に合わせ、最大 4 チームを想定

支援内容

- ISUTが取り扱う情報は、原則以下の通りであり、地方公共団体等の関係機関のオーダーを踏まえ災害対応の内容に応じて必要な情報を地図化して提供

【ハザード関係】

気象関係情報（警報・注意報、降水量、降雪量、台風進路等）／地震情報（震度等）
土砂災害情報（危険度分布、発生箇所等）／洪水情報（危険度分布、発生箇所等）
火山情報（降灰範囲等）

【被害関係】

人的被害／建物被害／交通（道路交通規制情報、車両通行実績、鉄道運行、港湾施設被害、空港施設被害等）／ライフライン（停電状況、ガス供給停止、下水道被害等）
通信（携帯電話通信障害エリア）／画像・動画情報（航空写真、衛星画像、ドローン等）

【災害対応関係】

避難所（開設状況、位置、避難者数）／物資拠点（広域物資輸送拠点の位置・地域内輸送拠点の位置）
医療施設（災害拠点病院・有床病院の位置、支援要否）／災害廃棄物（仮置場の位置（一次・二次）、受入状況）／ボランティア（市町村別の募集状況）

支援方法

- 災害ごとに情報共有のために開設するWebサイト（ISUTサイト）、紙媒体、電子ファイルで地図情報を提供
- ISUTサイトのURLとID・パスワード及びISUTの連絡先は、派遣先都道府県窓口、または全国市長会等を通じて、市町村をはじめとする関係機関へ通知

平時からのデータ整備

- 都道府県等に、避難所、物資拠点、有床病院、災害廃棄物仮置場、道路規制情報、給水支援情報について、名称、位置等の静的情報をあらかじめExcel形式やCSV形式等の電子データで整備すること、発災後の避難者数等の動的情報も電子データで集約できるようにしておくことを要望（※道路規制情報、給水支援情報については動的情報のみ）

ISUTとのデータ共有の方法の調整

- 発災時のISUTとのデータの受け渡し方法を平時から調整しておけば、より迅速な地図作成・提供が可能となるため、データの受け渡し方法（※）について、あらかじめ内閣府と調整を行うことを要望

（※）ISUTとのデータ受け渡し方法

- ① 平時に、各都道府県等の防災情報システムとSIP4Dの接続を調整し、発災時には自動でデータを受け渡し
- ② 平時に、USBやメール等のデータ提供方法を調整し、発災時にはその方法でデータを受け渡し

ブロック別説明会の開催状況

【資料1】

- 都道府県、政令指定都市の防災担当課職員を対象とした、ISUTブロック別説明会を全国各地にて開催した。

ブロック	説明会日程	会場
北海道ブロック	2月26日(火)	北海道庁危機管理センター
東北ブロック	2月21日(木)	仙台合同庁舎
関東ブロック	2月25日(月)	中央合同庁舎8号館（内閣府）
北陸ブロック	3月4日(月)	金沢新神田合同庁舎
中部ブロック	2月18日(月)	名古屋合同庁舎第2号館
近畿ブロック	2月20日(水)	大阪合同庁舎4号館
中国ブロック	2月28日(木)	広島合同庁舎4号館
四国ブロック	2月27日(水)	高松サンポート合同庁舎
九州北部ブロック	2月19日(火)	福岡合同庁舎本館
九州南部ブロック	3月5日(火)	熊本地方合同庁舎 A 棟